

(様式⑦-1 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 人と人との交わり、つながりの中で、【人間性豊かな心】、【たくましく生きる力】をもつ子　～明るく元気・自ら学ぶ・仲良く助け合う～	堺市立 庭代台小学校 校長 中 島 浩 恵
--	--------------------------

令和6年度 重点目標 ・「子どもの笑顔を大切に」「人が育つ』『人と育つ』学びの場の充実」 ― みんなそれぞれ　でもひとつ ― ・子どもたち、保護者、地域との信頼関係を大切にする ― 教育は、「深い子ども理解」「保護者理解」「地域理解」から ―

確かな学びの現状 堺市児童生徒学習・生活状況調査において、「学びに向かう力・人間性等」に関する26の質問項目の内、20項目がR4年度よりも上がっていた。「読書」「計画を立てて勉強」「ニュースなどに興味」は、R5堺市肯定回答率、R4本校肯定回答率よりも5ポイント以上高いが、「主体的に学習に取り組む(調整する力)」「学びを律する(学習への集中力)」がR4年度よりも5ポイント以上下回った。また、全国学調から記述問題の無回答率が大阪、全国平均と比べても高い。 この現状から、子どもの事実から学ぶ授業づくりに学年やメンターチームで取り組み、教職員の指導力向上をめざす。また、「書く力」の育成のために無条件の作文や一定条件での作文指導を行う。	豊かな心・健やかな体の現状 ・新体力テストより、投げる・走るの運動のみ高い数値でその他の項目の跳ぶ・切り返す・持続する・筋力を使う運動については低い数値だった。 ・運動力向上の根幹は日々の授業づくりと捉え、手引書を基にした体育の授業づくりに取り組む。運動量の確保と多様な動きの習得ができる体育の授業を行う。 ・昨年度に続き、考えて行動できる子どもの育成のために4つの重点目標に取り組む。 ・授業で仲間と共に学び、学級活動で係活動やみんなで遊ぶことから人を大切にする心を養う。 ・縦割り活動での異学年交流に取り組んでいく。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	◎学びに向かう力の育成 【研修】【図書】	●自ら計画を立てて、学習に取り組む力の育成　・家庭学習、自主学習を推進する。 ・各教科と生活科、総合的な学習の時間、行事等の関連を意識した授業づくりを行う。	・個々の児童の学習状況の指導と評価の共有。	・児童が作成した学習計画の進捗状況の共有	・学期毎					
			●読書教育の推進 ・週に2回、朝の時間を活用し、読書を実施する。 ・ニコニコ文庫、学校司書、司書教諭が連携して学校図書館を核として読書環境づくりを進める。 ・図書委員会とニコニコ文庫の共同イベントなど、協働した取り組みを作り出し、読書を通じて交流を楽しむ環境づくりを行う。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上 ・学校図書館の休み時間来館者数 →年間1900人以上	・学校教育アンケート ・取り組み実施状況	・年度末					
	授業改善	◎児童が学びに向かう授業づくり 【研修】	●子どもの実態に応じた授業づくり ・つながりシートによる学習計画を作成し、指導と評価の一体化を行う。 ・学びに向かい、学びがにつながるIoT活用を行う。	・各学年の児童の実態に即した指導と評価の共有	・つながりシートの項目	・毎月 ・年2回					
			●校内研修の充実 ・学びに向かう姿を明確化する。 ・教員自身の学びのふりかえりを共有する。 ・全教員による研究、公開授業を実施する。 ・メンターチーム制により学びあう。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート						
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	◎仲間を認め、自分を大切にできる子どもを育て、みんなが安心を感じられる集団作り 【人権・生指】	●仲間と自分を大切にし、誰もが居場所がある集団作り ・各学級の実態に応じ、係活動などの自治的な活動を取り入れる。 ・休み時間にみんな遊びを行ったり、特別活動の時間に話し合い活動を行ったりするなど、学級でつながる時間を確保する。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎学期					
			●ジェンダー平等に関する理解の推進 ・全学級で性差に関する授業を実施する。 ・教職員が高い意識を持つとともに、全ての教育活動を通じて児童に伝える。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎学期					
			●たてわり活動の充実 ・異学年の児童が集まり、交流を深める。 ・各学年の集団の中での役割を考え、行動する。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎学期					
	運動力向上	◎考えて行動できる子どもの育成をめざす生徒指導 【生指】	●あいさつ・廊下歩行・靴ならべ・清掃 ・児童活動との連携で、毎学期それぞれに焦点をあてた啓発を行う。	・学校教育アンケート ・生活目標チェック →肯定回答　8割以上	・学校教育アンケート ・生活目標チェック	・年2回 ・毎月					
			●いじめ防止の取り組み ・全学級での啓発授業を行う。 ・夕礼の中で全体に対し講話を行う。 ・こころアンケートの実施、iシステムの活用等を通して、早期発見、早期対応、未然防止に努める。	・学校教育アンケート →肯定回答　8割以上	・学校教育アンケート ・こころアンケート	・年2回 ・毎学期					
		◎特別支援教育の充実 【特支】	●特別支援教育の充実 ・配慮を要する児童への指導体制(通級指導教室の活用)を広げる。 ・専門機関との連携を行う。 ・通級指導教室の取組を職員で共有する。 ・職員研修(ティーチャー・トレーニング)を年8回行う。 ●障害理解教育の推進 ・人権教育計画に基づいた障害者理解教育を実施する。 ・「堺ゆめ授業」を実施する。(活躍する障がいのある方の招へい)	・PT評価ツール「理解対応」、「肯定的教育」 →向上 ・学校教育アンケート →肯定的回答　8割以上 ・児童の学習状況	・PT評価ツール ・学校教育アンケート ・児童の実態	・年2回 ・年2回 ・実施後					
	食育の推進	◎運動を通して、体全体を動かし、体力向上をめざす ◎多様な運動を身につける 【体育】	●体育授業の充実 ・児童の実態に応じた授業を実施する。 ・学習記録・振り返りカード等を共有する。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート	・年2回					
			●業間体育の活性化 ・休み時間を活用し外遊びを推進する。 ・授業で身につけた運動や体育カードを活用する。	・学校教育アンケート →肯定的回答8割以上	・学校教育アンケート	・年2回					
	つながる教育・ひろがる教育	◎食に関する知識の習得と、生活習慣の確立 【給食指導】	栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する指導を実施する。	・学校教育アンケート →肯定的回答　8割以上	・学校教育アンケート	・年2回					
		◎9年間の成長を共有するとともに、子どもの事実をもとにした学びを共有【小中一貫】	●小中で「めざす子ども像」の共有 ・全職員が1回以上積極的な授業参観を行う。 ・子どもの事実をもとにした学びあいの場を共有したり、意見交換したりする。	・小中お互いに授業を参観し、子どもの事実から「めざす子ども像」に向けた系統的な取り組みの共有	・小中お互いに授業を参観、協議会での共有	・毎回の公開授業					
	小中連携・地域協働	◎安心、安全に繋がる地域との連携 【幼小連携】【教務】	●幼小連携 ・ワクワク広場などを実施する。 ・相互連携による情報共有を行う。 ★登下校時の見守り活動	・実施後の意識調査	・児童の実態	・年度末					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------